

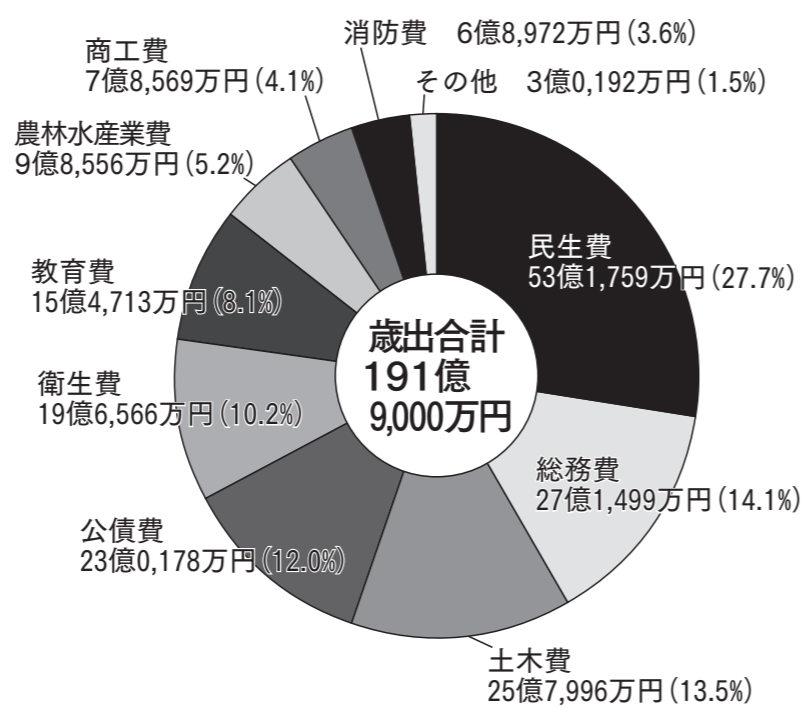
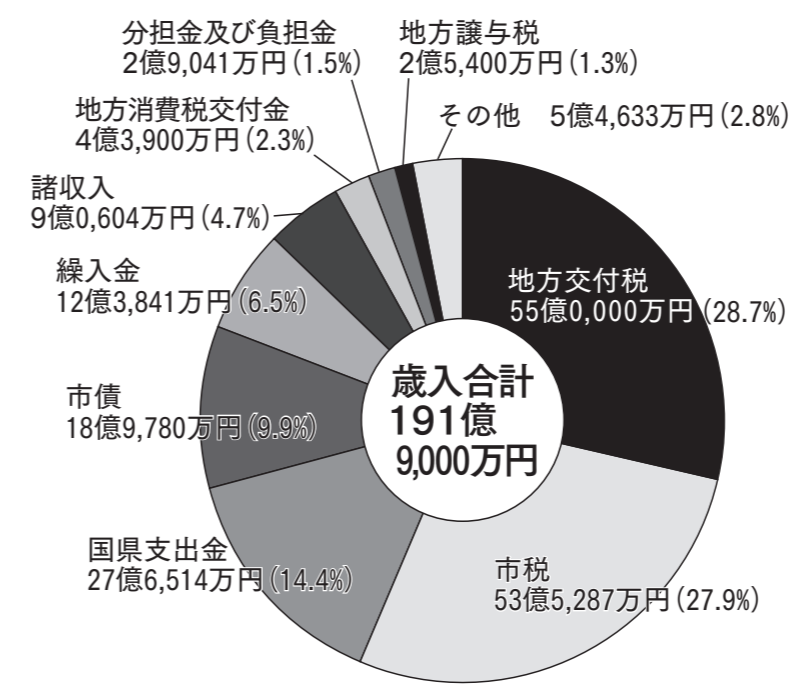
# 平成22年度予算

中野市の平成22年度予算は「市民生活を支援する」を基本に、  
 厳しい経済・雇用情勢に対応しながら、市民の皆さんの安心した  
 生活を支え、温かみの感じられる「柔らかい予算」を心がけて編  
 成しました。



## 191億9,000万円

## 一般会計予算額



### 収入（歳入）

項目	予算額	前年度比
地方交付税	55億0,000万円	3.8%
市税	53億5,287万円	△2.2%
市債	18億9,780万円	31.1%
国庫支出金	16億0,229万円	33.7%
繰入金	12億3,841万円	21.1%
県支出金	11億6,285万円	30.4%
諸収入	9億0,604万円	2.9%
地方消費税交付金	4億3,900万円	0.0%
分担金及び負担金	2億9,041万円	△5.1%
地方譲与税	2億5,400万円	△1.9%
使用料及び手数料	2億2,584万円	0.0%
繰越金	1億0,000万円	0.0%
自動車取得税交付金	6,200万円	△18.4%
地方特例交付金	5,680万円	△11.1%
財産収入	4,201万円	△11.3%
利子割交付金	2,700万円	0.0%
配当割交付金	1,000万円	△23.1%
ゴルフ場利用税交付金	1,000万円	0.0%
交通安全対策特別交付金	700万円	△12.5%
寄附金	318万円	1,165.7%
株式等譲渡所得割交付金	250万円	△75.0%
合計	191億9,000万円	7.8%

### 支出（歳出）

項目	予算額	前年度比
民生費	53億1,759万円	17.0%
総務費	27億1,499万円	19.9%
土木費	25億7,996万円	△10.9%
公債費	23億0,178万円	△6.2%
衛生費	19億6,566万円	24.7%
教育費	15億4,713万円	△1.9%
農林水産業費	9億8,556万円	9.7%
商工費	7億8,569万円	31.2%
消防費	6億8,972万円	0.3%
議会費	1億7,601万円	△1.9%
労働費	8,591万円	3.5%
予備費	4,000万円	0.0%
合計	191億9,000万円	7.8%

### 会計別予算額

会計名	予算総額	前年度比
一般会計	191億9,000万円	7.8%
特別会計	114億7,836万円	△0.2%
企業会計	13億2,078万円	△43.7%
合計	319億8,914万円	1.1%

※水道事業の予算総額は、収益的支出および資本的支出の予算額の合計

国では、平成22年度の経済見通しについて、景気は、緩やかに回復していくと見込む一方、物価は、緩やかに下落が続き、失業率は、高止まりと見込んでおり、こうした状況で、平成22年度の国内総生産の実質成長率を、3年ぶりのプラス成長が見込まれるとし、国の平成22年度予算においては、子育て、雇用、環境等に重点を置き、国民の付託に応えるべき主要施策を着実に取り組み、経済成長と財政規律を両立させていくとしています。

こうした、国の動向を踏まえ、中野市においても、「市民生活を支援する」を基本に、

① 子育て環境の充実など「子ども」の支援  
 ② 福祉・医療など「安心生活」の支援  
 ③ 雇用機会を創出し、産業の育成及び安定化を図る「雇用と産業」の支援  
 ④ 教育環境の整備及び地域文化に配慮した「教育と文化」の支援  
 ⑤ 地球環境との共生に配慮した「環境への取り組み」の支援

歳入では、地方交付税および各種補助金・交付金などの財源の最大限活用と、収入の確保に全力を挙げていきます。

歳出では、厳しい財政状況の中、経常経費の削減に努め、増加する社会保障関係費や実施計画計上事業費など、必要な事業費を確保し、制度資金貸付保証料補給金、労働金庫預託金の増額や緊急雇用創出事業の拡大など、引き続き景気・雇用対策に積極的に取り組んでいくとともに、一層の行政のスリム化を進め、事務事業評価等に基づく各種事業の見直しや削減、経常経費の抑制を図り、規律ある財政運営に努めていきます。

平成22年度の一一般会計予算は、総額191億9000万円、前年度予算との比較では約14億円、率にして7・8パーセントの増となっています。